

NMR NEWS

2013/11
No.40



赤錆防止・配管延命装置「NMRパイプテクター」

横浜市水道局より NMR工法の防錆効果について論文発表



平成25年度全国会議(水道研究発表会)講演集 表紙
平成25年度全国会議(水道研究発表会)／公益社団法人日本水道協会発行 講演集 表紙

10月23～25日に郡山市で開かれた公益社団法人日本水道協会「平成25年度全国会議(水道研究発表会)」に於いて、横浜市水道局より配水管内の赤錆による残留塩素濃度低下問題を解決する論文が発表されました。

配水管中で殺菌用の残留塩素濃度が赤錆によって低下してしまう事は、全国の水道事業者共通の問題です。その解決策として、横浜市水道局より「特定の電磁波を応用した防錆装置」による配水管における残留塩素減少防止効果の検証が発表されました。

■ NMRパイプテクターを通過した水は雑菌も減少させます。雑菌の消長試験についてはホームページをご覧ください。

都の後援でマレーシア環境展 “IGEM 2013”に出展

10月10～13日にマレーシアで開催された東南アジア最大級の環境・エネルギー総合見本市「IGEM2013」へ「NMRパイプテクター」を出展しました。



今回の「IGEM2013」では、JETRO(日本貿易振興機構「JAPANブース」)内に設けられ東京都中小企業振興公社の小間を無償で提供を受け、実質的に都の後援にて出展する事となりました。

■ NMRニュースのバックナンバーは、ホームページでもご覧いただけます。(http://www)

東京新聞が1面紙上で『NMRパイプテクター』の取材記事を掲載

東京新聞 (5月25日号 一面)



探訪 都の企業
日本のシステム
日本システム企画
英王室信頼の透明度

ラジオ

東京FM他 (6月22日)



ラジオ東京FM30分番組「フロンティアーズ～明日への挑戦」で「NMRパイプテクター」が全国に紹介されました。

■記事はホームページからもご覧になれます。(http://www.jspkk.co.jp)

創立25周年記念式典を開催 6月21日ホテルオークラ東京「平安の間」にて



当社は、昭和63年6月13日に設立され、25年目を祝い6月21日、ホテルオークラ東京にて設立25周年記念式典を開催致しました。当日は三百名を超えるご来賓の方々記念式典にご臨席賜りました。式典では当社代表取締役社長熊野活行より「NMRパイプテクター」を中心

とした製品の紹介、日本及び海外への市場開拓状況を説明致しました。更に、今後の事業展開として現在実証実験を行っている海流発電システムについて今年中に水槽での最終試験を行うなど今後の活動の発表を行いました。

また、奥羽大学薬学部生化学分野の山本正雅准教授より配管の酸化防止技術を医学的に応用し、血管内の酸化ストレスを低減させる装置「NMOA」の共同研究内容の報告が行われました。

48年前の亜鉛メッキ鋼管製 給水管を再生

東京都調布市にあるDPE工場は、13年前に築35年で垂鉛めつき鋼管(SGP管)製給水管が漏水を発生し、赤錆による水中の鉄分値も0.5mg/ℓと濃い赤水が出ていました。

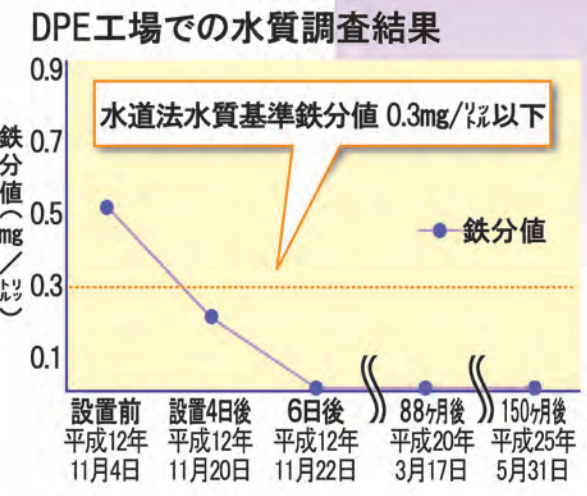
DPE工場のため、赤錆を除去するフィルター装置で対処していましたが、管診断で管寿命2ヶ月の状態でした。

こうした状況下、配管赤錆防止装置「NMRパイプテクター」を設置

以後、設置150ヶ月後の追跡調査で「NMRパイプテクター」設置後は設置前に継続的に見られた漏水も完全に止まりました。朝一番の水中の赤錆からくる鉄分値は測定限界以下であり、亜鉛メッキ鋼管で「NMRパイプテクター」を使用すれば築48年でも給水管は使用できる事が実証されました。



築48年が経過したDPE工場 (東京都調布市)



■NMRニュースのご意見・ご感想は(kikaku@jspkk.co.jp)までお送りください。